

グローバル輸送科学コース

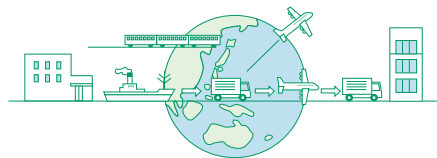
世界経済のグローバル化に対応し、国際物流の基盤を支える輸送体系の高度化に貢献することを目的として、海上輸送を中心とした陸海空一体の最適な輸送と物流システムの構築を多角的に行うために、船舶運航・管理技術と物流経営・情報解析に関する教育研究を行う。

本コースの教育研究分野

- ・航海基盤科学
- ・航海システム科学
- ・輸送情報科学
- ・海事人的要因科学
- ・輸送計画科学
- ・輸送社会科学

本コースの授業科目（_：英語による授業科目）

- ・国際海事社会学
- ・海洋理工学演習
- ・輸送包装論 1, 2
- ・海事行政法 1, 2
- ・数理解析 1, 2
- ・海事産業経営論 1, 2
- ・身体運動科学 1, 2
- ・船隊安全管理論 1, 2
- ・海上交通管理論 1, 2
- ・地域環境科学論
- ・海洋環境気候学
- ・海洋探査技術
- ・海洋底物質科学
- ・海洋底物理学
- ・海洋資源法学
- ・船舶運航論 1, 2
- ・海洋情報論 1, 2
- ・海洋観測システム論 1, 2
- ・交通システム計画論 1, 2
- ・ロジスティクスマネジメント 1, 2
- ・交通政策と数理計画 1, 2
- ・プロジェクト評価論 1, 2
- ・ネットワーク解析論 1, 2
- ・画像情報処理論 1, 2
- ・知識工学 1, 2
- ・数理最適化論 1, 2
- ・マルチメディア論 1, 2
- ・ヒューマンインタフェース 1, 2
- ・国際交通論 1, 2
- ・交通経営論 1, 2
- ・組織理論 1, 2
- ・環境システム論 1, 2



在学生からのメッセージ



近藤 大祐

グローバル輸送科学コース



日本

1. 海事科学研究科を選んだ理由は？

私は学部4年生の時に行っていた卒業研究をさらに深め、それを自律運航船に関する研究につなげていきたいと考え海事科学研究科を選びました。海事科学研究科での研究室を選ぶにあたっては、一番自分のやりたい分野の研究ができ、かつ自分に合った研究室を選びました。

2. 入学後の大学院の印象は？

学生数が少なく、授業では教員との距離が非常に近いです。研究室においても学生同士のみならず、留学生や教員とも密接に関わりがあり、和やかな研究環境です。英語での授業や留学生と交流することで英語力の向上にもつながります。自分の研究したいことを自由に選択でき、計画性をもって研究を行うことができます。

3. あなたの研究内容について簡単に教えてください。

私は海難審判における「無難に航過する」に関して研究を行っています。「無難に航過する」は具体的な数値基準が存在せず、そのような状況では数値的なアルゴリズムで動く自律運航船の出現に影響が出ると考え、「無難に航過する」距離に関して明らかにすることを目的として研究を行っています。

4. 大学院進学の魅力について教えてください。

学部ではできない長期的な研究を行うことができます。自分のやりたい研究を、目標をもって行うことができるのは大学院進学の魅力です。また、TAとして教育の場にも立つことで自身の知識を深めることもできます。

5. 卒業後のあなたの進路について教えてください。

私は卒業後、博士課程後期課程への進学を予定しています。進学後は学部、前期課程で培った自身の考えや知識をより深めたいと考えています。前期課程で得た専門性を発展させ、今後出現が予想される自律運航船と船隊管理に関して研究を行う予定です。

6. 海事科学研究科の魅力は何ですか？

海事科学研究科は教員との距離が近く、多くのことを学べる機会、様々なことに挑戦できる環境に恵まれています。練習船を所有しており、実際の船や港湾の見学もあるため海事科学に関する見識を深めることができます。

7. 海事科学研究科を目指す高校生、大学生へのメッセージ

海事科学研究科は他大学と比べて比較的学生の数が少なく、教員との距離が近いことが特徴です。海事科学分野を研究することができる大学院は少ないと考えます。海事科学研究科を目指す高校生、大学生は他大学の研究室の研究や環境を比較し、自分に合った研究室を選択することをお勧めします。同じ分野を学びあえる後輩に会える日を、楽しみにしています。

2023年6月現在